

2024年12月期第2四半期(中間期) 決算補足説明資料



1

サマリー

サマリー

総括

- 上期は**増収・大幅増益**で売上高、経常利益は半期ベースで**過去最高**
- 化学品事業
EHD関連売上比率増による利益率向上
欧米アパレル在庫調整長期化による需要低迷から回復傾向、**中国回復顕著**、**円安**による伸長
売上高、利益ともに半期ベースで**過去最高**
- 化粧品事業
デミコリア好調、**デミ注力商品販売増**も、大口ODM・サロン既存品減少で減収
販売関連費増、在庫変動の影響もあり減益
- 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」を公表（別紙適時開示参照）
配当方針の見直し→**中間配当を上方修正**（別紙適時開示参照）
- 上期業績および下期の見通しを踏まえ、**通期業績・配当予想を上方修正**
(参照P15：業績・配当予想)

2

決算概要 (全社)

増収・大幅増益、売上高、経常利益は半期ベースで過去最高

単位：百万円

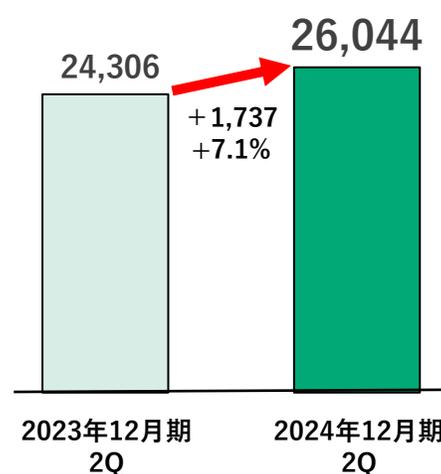
単位：百万円	2023年12月期 2Q	2024年12月期 2Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	24,306	26,044	+1,737	+7.1%
営業利益 (営業利益率)	432 (1.8%)	1,626 (6.2%)	+1,193	+275.8% (+4.4 pt)
経常利益	766	2,007	+1,240	+161.8%
親会社株主に帰属する 中間純利益	285	1,217	+932	+327.0%

【経営指標】

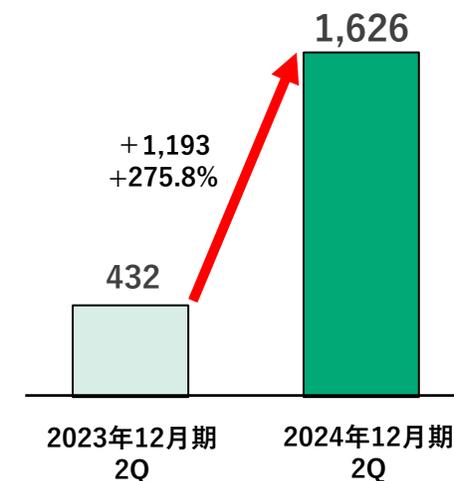
ROA	1.5%	5.6%	—	+4.0 pt
ROE	2.0%	7.7%	—	+5.7 pt
EBITDA	1,534	2,713	+1,179	—
減価償却費	1,101	1,087	△13	—
自己資本比率	52.4%	55.1%	—	+2.7 pt

年間配当(円) 32 50 (予定) ※中間配当25円

売上高



営業利益



為替（期中平均）
米ドル：152.33円（前年同期比 12.0%円安）
中国元：8.1%円安 ウォン：7.7%円安

国産ナフサ
1Q : 72,500円（前年同期比 +9.0%）
2Q予想：79,100円（同 +17.2%）
3Q予想：80,200円（同 +26.1%）

連結キャッシュフロー

営業CF： +21億円（収入） EBITDA 27億円、運転資本増3億円、法人税支払3億円
投資CF： △15億円（支出） 固定資産取得による支出5億円
財務CF： △12億円（支出） 借入金返済7億円、配当金支払4億円

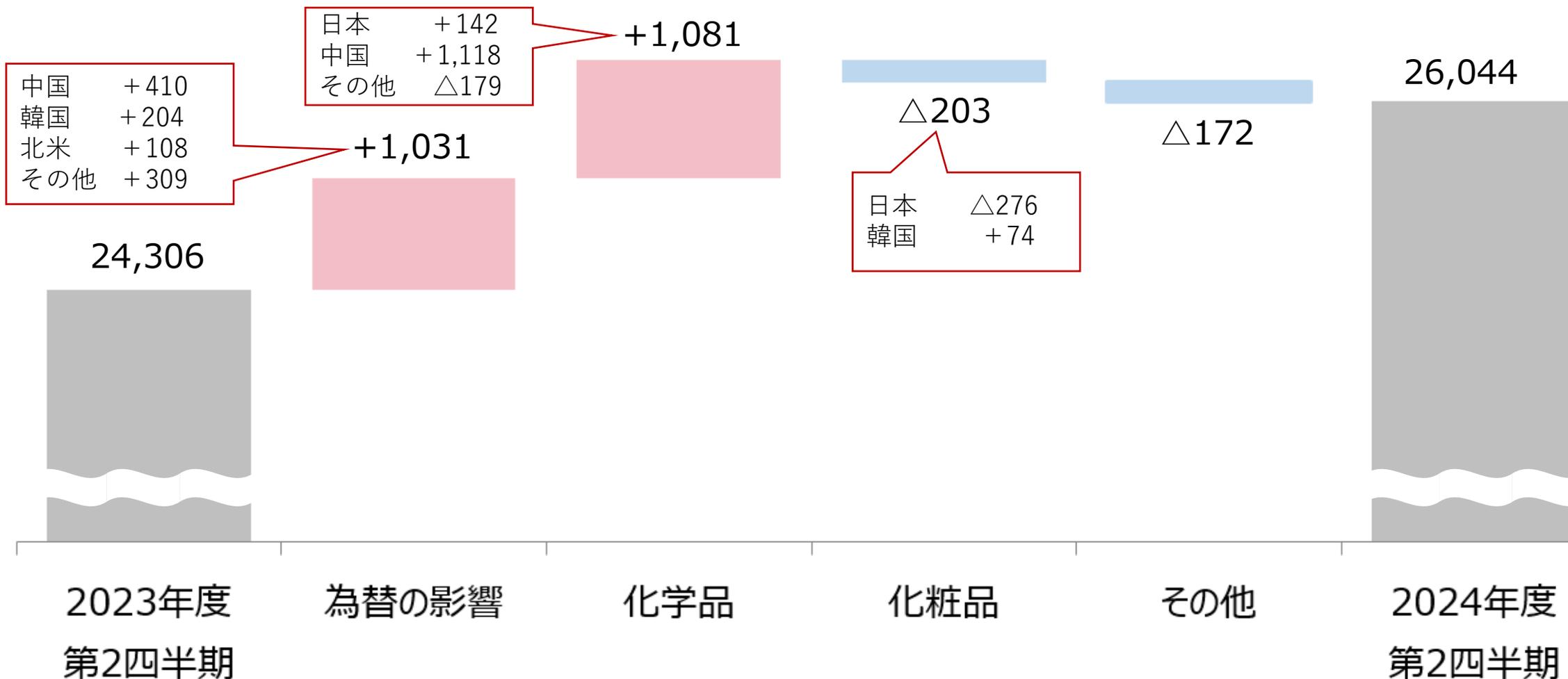
単位：百万円	前連結会計年度 2023年12月期 第2四半期	当連結会計年度 2024年12月期 第2四半期	増減額
営業CF	1,759	2,175	+416
投資CF	△501	△1,512	△1,011
財務CF	△1,415	△1,299	+115
期末現預金残高	7,211	9,213	+2,002
有利子負債	9,304	8,536	△768

売上高 増減要因 (対前年)

為替の影響 +10億円、化学品事業 +10億円増収、化粧品事業 △2億円減収

化学品事業：国内増収、海外は中国を中心に増収 化粧品事業：国内は減収、海外は増収

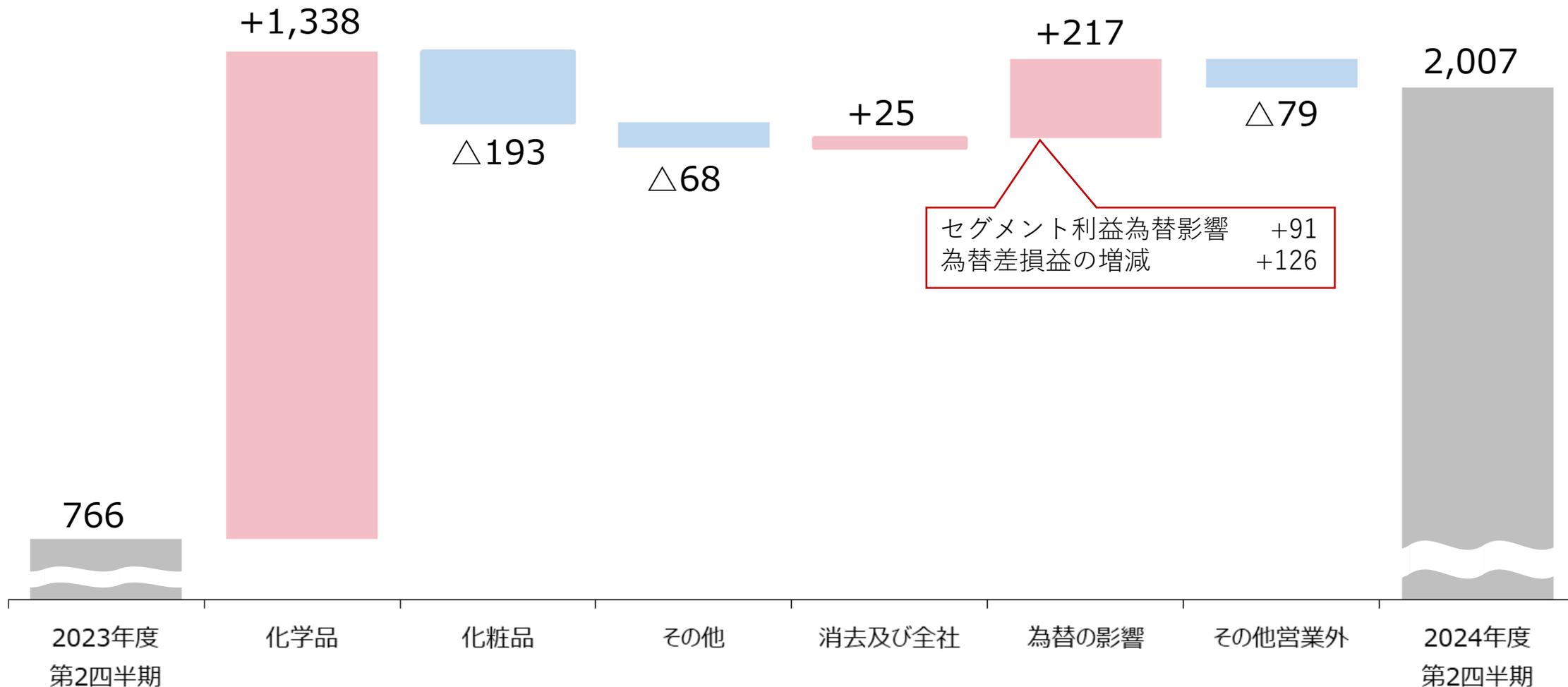
単位：百万円



経常利益 増減要因 (対前年)

営業利益 化学品事業 +13億円増益、化粧品事業 △1.9億円減益

単位：百万円



3

**決算概要
(セグメント別)**

セグメント

「化学品」と「化粧品」の2つの事業領域

化学品事業

創業以来培った繊維加工のトータルソリューション技術を幅広い市場に応用、2015年に大智化学産業を買収し、成長著しいデジタル分野にも展開

繊維加工用薬剤



クリーニング用薬剤



スペシャリティケミカル
(特殊化学品・機能化学品)



スペシャリティケミカル
(先端材料)



主要な関係会社

- ・大智化学産業株式会社（半導体産業向け）
- ・日華化学（中国）有限公司
- ・NICCA KOREA CO., LTD.
- 他13社

化粧品事業

主力ブランド「DEMI」を中心としたプロフェッショナル向け美容室専売品 お客様の声に耳を傾け、髪健康と美しさをテーマに研究開発

ヘアケア



スカルプケア



ヘアカラー



スタイリング



主要な関係会社

- ・山田製薬株式会社（化粧品OEM/ODM）
- ・イーラル株式会社
- ・DEMI KOREA CO., LTD.
- 他4社

セグメント別（化学品事業）

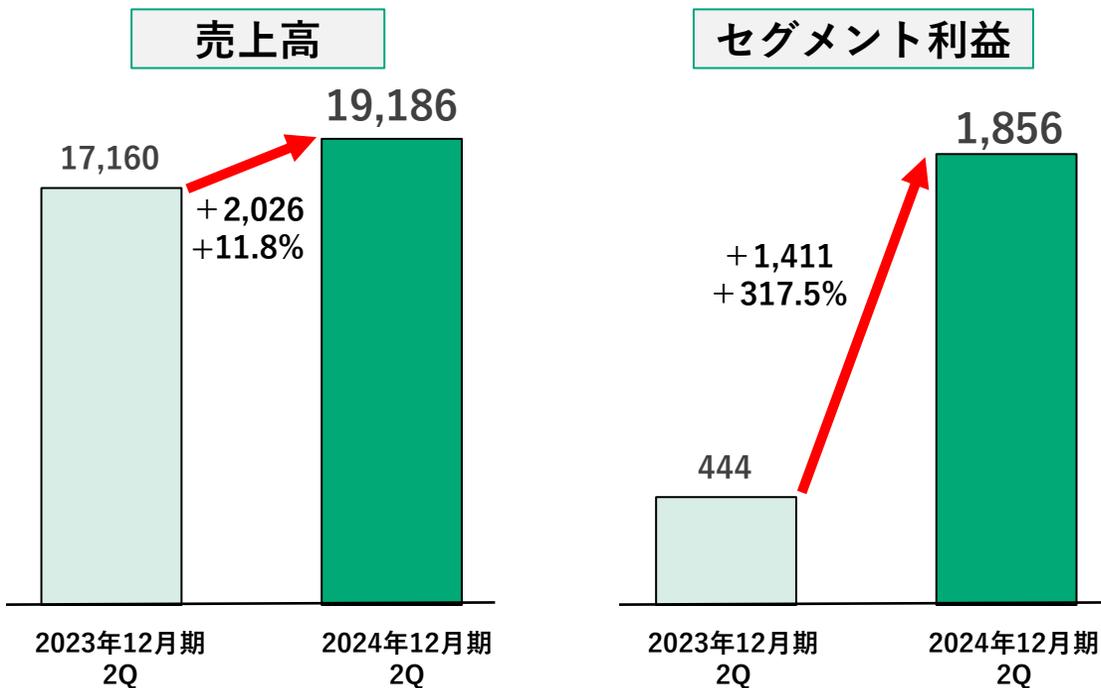
売上高、利益ともに半期ベースで過去最高

化学品事業	2023年12月期 2Q	2024年12月期 2Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	17,160	19,186	+2,026	+11.8%
セグメント利益	444	1,856	+1,411	+317.5%
(利益率)	(2.6%)	(9.7%)		(+7.1 pt)

為替（期中平均）
 米ドル：152.33円（前年同期比 12.0%円安）
 中国元：8.1%円安 ウォン：7.7%円安

国産ナフサ
 1Q : 72,500円（前年同期比 +9.0%）
 2Q予想：79,100円（同 +17.2%）
 3Q予想：80,200円（同 +26.1%）

単位：百万円



要因

¹EHD：Environment, Health, Digital

EHD¹関連売上比率3pt増(前年同期比) → 利益率向上
 従来製品比粗利率+9%

- < + 販売堅調 > 撥水剤、水系ウレタン、環境対応工程薬剤、リネン用薬剤
- < + 新規販売 > 自動車向け合皮用トップコート剤グローバル展開

【売上高】

◆繊維化学品分野

- (+) 欧米アパレル在庫調整長期化による需要低迷から回復傾向
- (+) インド・バングラビジネスの成長
- (+) 中国が前年1Qのコロナでの低稼働から回復、大手加工場高稼働

◆クリーニング薬剤分野（国内）

- (+) インバウンド好調によるリネンサプライ用薬剤販売増

◆半導体加工薬剤分野

- (+) 半導体市場不況の影響から2Qで回復

【利益】

- (+) 粗利益率向上、販管費・製造固定費抑制、円安の影響

セグメント別（化粧品事業）

減収・減益

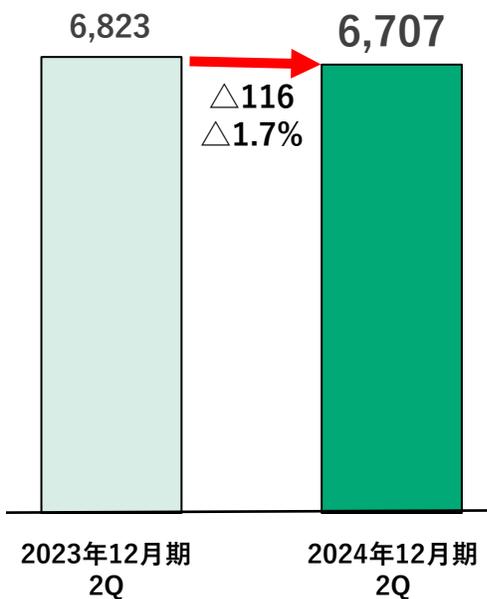
化粧品事業	2023年12月期 2Q	2024年12月期 2Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	6,823	6,707	△116	△1.7%
セグメント利益	850	675	△175	△20.6%
(利益率)	(12.5%)	(10.1%)		(△2.4 pt)

為替（期中平均）
 米ドル：152.33円（前年同期比 12.0%円安）
 中国元：8.1%円安 ウォン：7.7%円安

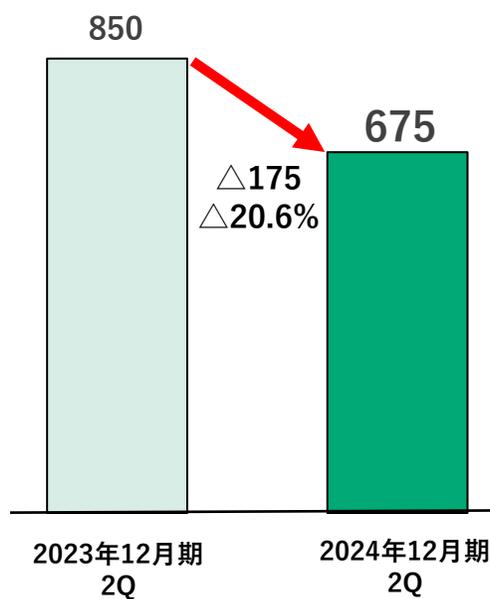
国産ナフサ
 1Q : 72,500円（前年同期比 +9.0%）
 2Q予想：79,100円（同 +17.2%）
 3Q予想：80,200円（同 +26.1%）

単位：百万円

売上高



セグメント利益



要因

【売上高】

- (-) 山田製薬 大口ODM減少
- (-) 日華化学デミコスメティクス
新商品含む注力商品増も既存品の減少大
美容室来店客数減
- (+) デミコリア 好調、山田製薬 その他ODM堅調

【利益】

- (-) 売上減、販売関連費増、在庫変動の影響

◆デミコスメティクス新商品

メンズブランド「キャラバン」、「エクスフリーク」

◆デミコリア

美容室来店客数は引き続き低迷している中、カラーでのシェア拡大と韓国専用ヘアケア伸長

施策の進捗状況（2024年12月期2Q）

化学品：更なる収益性向上

化粧品：新製品・メンズブランド、デジタルプロモーション継続による国内シェア拡大

全社：人への投資強化

	施策	進捗状況（2Q）
化学品事業	・ EHDシフトの推進	<ul style="list-style-type: none"> 販売堅調／撥水剤、水系ウレタン、環境対応工程薬剤、リネン 新規販売／自動車向け合皮用トップコート剤グローバル展開
	・ 戦略的グローバル調達への推進	<ul style="list-style-type: none"> 海外子会社の情報網を活用し、マレーシア、インドネシア、中国から競争力のある油脂化学品、無機化学品の調達を推進中
	・ 不採算製品の統廃合	<ul style="list-style-type: none"> 低粗利製品を同等性能付与製品へ積極的に転換を図り、収益性向上推進中
	・ 原料、物流コスト増に対応した価格改定や採算是正	<ul style="list-style-type: none"> 原油価格上昇、円安、人件費上昇による原料、光熱費コスト、物流コスト上昇に対して機敏な価格改定を図る
化粧品事業	・ スカルプケア「DEMI DO」、ヘアカラー「トイロクシオン」導入サロンでのシェアアップ	<ul style="list-style-type: none"> DEMI DOトライアルサシェを作成し導入サロンで展開 トイロクシオン追加ライン「ブラウニッシュライン」他5月発売
	・ メンズブランド強化	<ul style="list-style-type: none"> 1月に「キャラバン」、3月に「エクスフリーク」発売 6月「キャラバン」新アイテム発売
	・ デジタルプロモーションの継続	<ul style="list-style-type: none"> オウンドメディア「DEMI LABO(デミ ラボ)」5月ローンチ

4

業績・配当予想 (2024年12月期)

業績予想（2024年12月期） 全社

増収・増益、増配／期初予想から利益・配当を上方修正

今上期において、特に化学品事業で収益改善諸施策の進展や中国等の業績回復等により利益が期初予想を上回った事、及び下期において化粧品事業も含めて堅調に推移する見通しであることから、前回発表予想に対し各利益が増加の見込。売上高、営業利益、経常利益は過去最高の見込。期末配当は新配当方針を踏まえ25円として年間で50円予定に

単位：百万円	2023年12月期 実績	2月13日時点		7月31日時点			
		2024年12月期 直近予想（修正前）	2024年12月期 予想（修正後）	直近予想比 （増減額）	前期比 （増減額）	前期比 （増減率）	
売上高	50,169	53,500	53,500	-	+3,330	+6.6%	
営業利益 （営業利益率）	2,039 (4.1%)	2,500 (4.7%)	3,200 (6.0%)	+700 (+1.3pt)	+1,160 (+1.9pt)	+56.9%	
経常利益	2,528	2,700	3,700	+1,000	+1,171	+46.3%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,691	1,800	2,200	+400	+508	+30.1%	
年間配当（円）	32	34 （予定）	50 （予定）	+16	+18	-	

想定条件：為替／152円（円／米ドル、2024年上期期中平均値） ナフサ／80,200円

設備投資予定額(2024年12月期) / 2,400百万円

業績予想（2024年12月期）セグメント別

化学品が増収・増益／化学品が期初予想から上方修正

単位：百万円		2023年12月期 実績	2月13日時点	7月31日時点			
			2024年12月期 直近予想（修正前）	2024年12月期 予想（修正後）	増減額	前期比 （増減額）	前期比 （増減率）
化学品 事業	売上高	35,605	38,500	39,000	+500	+3,394	+9.5%
	セグメント利益	1,803	2,250	3,200	+950	+1,396	+77.5%
化粧品 事業	売上高	13,977	14,500	14,000	△500	+22	+0.2%
	セグメント利益	2,044	2,100	1,900	△200	△144	△7.0%
その他	売上高	586	500	500	—	△86	△14.8%
	セグメント利益	64	50	50	—	△14	△21.9%
消去等	売上高	—	—	—	—	—	—
	セグメント利益	△1,871	△1,900	△1,950	△50	△78	—
合計	売上高	50,169	53,500	53,500	—	+3,330	+6.6%
	営業利益	2,039	2,500	3,200	+700	+1,160	+56.9%

5

直近の
トピックス

トピックス① (化粧品事業)

化粧品新工場建設 「生産キャパ拡大」「生産性向上」を主目的に、2027年本格稼働を目指す

本格稼働：2027年

投資規模：約195億円

名称：福井スマートファクトリー（仮称）

建設予定地：福井県福井市

- ・ 3階建て、建築面積約10,000㎡、延べ床面積約23,000㎡
- ・ 製造キャパ大幅増（将来の拡張性を確保、設備は段階投資）
- ・ 生産性大幅改善（人時生産性1.5倍）

24時間稼働、デジタル化・自動化・省人化

- ・ 在庫回転月数の低減
- ・ 働きやすい職場環境
- ・ 環境対応（太陽光発電、CO2排出削減、排水量削減等）



イメージパース図

※記載内容は全て現時点での予定

トピックス② (化粧品事業)

デミ コスメティクス主力ブランドより 新ブランド「フローディアモア」新発売予定 (8月)

- ・ デミ主力「フローディア」の最上位ライン
- ・ デミ初の酸性ストレート、超修復トリートメント



DEMI

毛髪強度を守り、クセ・うねりにしっかり作用するストレートシリーズ
ダメージ要因を限定せず、マルチに補修するトリートメントシリーズ
フローディア史上、最高峰の補修力を持つホームケア

- ・ 全15アイテム予定
- ・ 扱いにくいお悩み髪をいつまでも触れていたい艶髪へ



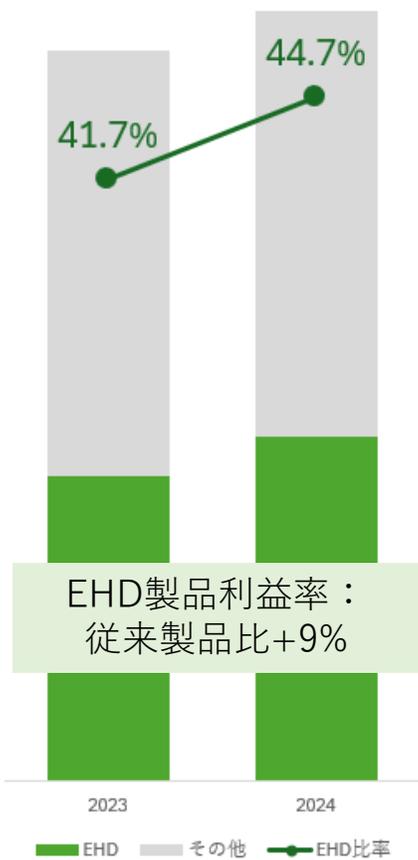
FLOWDIA
MORE



トピックス③ (化学品事業)

高付加価値EHD関連売上が業績を牽引、EHD売上比率は3ポイント上昇

EHD売上比率



EHD関連トピックス

フッ素フリー系撥水剤 (売上4億円増)

用途や機能に合わせ、製品ラインナップを充実



100%木質由来の顕色剤 (新製品)

日本製紙株式会社と、感熱紙用の薬品である顕色剤について共同研究を実施。世界初で、木質由来成分であるクラフトリグニンを用い、新しいバイオマス顕色剤を開発



Smart Dyeing Process (売上1億円増)

- ・工程合理化をキーワードに、環境対応型ポリエステル用関連薬剤「DRAINRESS RCシリーズ」を展開
- ・バイオ原料やリサイクル原料使用のEvoGreenも展開開始



環境清掃用 除菌洗浄剤 (新製品)

病院・施設向け除菌クリーナーを展開。「洗浄」と「除菌」をこれ1本で実現できる事に加え、除菌作用の即効性、様々なウイルスやバクテリア等に有効性を発揮する実用性を強みに展開中。



トピックス④ (コーポレート/サステナビリティ)

報酬制度改定による賃金および初任給の引き上げ

(2月公表)



- ・ 2024年4月1日より当社社員約600名に対して実施
- ・ 将来を担う人材確保の重要なステップ

新卒初任給：約**10%アップ** (大卒2万3千円アップ)

1人当たり平均給与：**7.6%アップ** ※2023年比

CDP「気候変動レポート2023」にて上位から3番目の『B』スコアを獲得

(3月公表)

- ・ CDP (Carbon Disclosure Project) とは
企業や自治体の気候変動や温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みを評価し
その結果を情報開示するNGO



Appendix

業績サマリー

1 全社：増収・大幅増益

売上高：26,044百万円 (+7.1%)、営業利益：1,626百万円 (+275.8%)
 経常利益：2,007百万円 (+161.8%)、中間純利益：1,217百万円 (+327.0%)

為替（期中平均）
 米ドル：152.33円（前年同期比 12.0%円安）
 中国元：8.1%円安 ウォン：7.7%円安

国産ナフサ
 1Q : 72,500円（前年同期比 +9.0%）
 2Q予想：79,100円（同 +17.2%）
 3Q予想：80,200円（同 +26.1%）

2 化学品事業：増収・増益

売上高：19,186百万円 (+11.8%)、セグメント利益：1,856百万円 (+317.5%)

(要因) EHD関連売上比率増による利益率向上
 【売上高】 (+) 欧米アパレル在庫調整長期化による需要低迷から回復傾向、中国回復顕著、円安による伸長
 【利益】 (+) 粗利益率向上、販管費・製造固定費抑制、円安の影響

3 化粧品事業：減収・減益

売上高：6,707百万円 (△1.7%)、セグメント利益：675百万円 (△20.6%)

(要因) 【売上高】 (-) 大口ODM減少、新商品含む注力商品増もサロン既存品減少大
 (+) デミコリア好調、その他ODM堅調
 【利益】 (-) 売上減、販売関連費用増、在庫変動の影響

セグメント別業績サマリー

化学品事業：増収・増益（売上高、利益ともに半期ベースで過去最高）

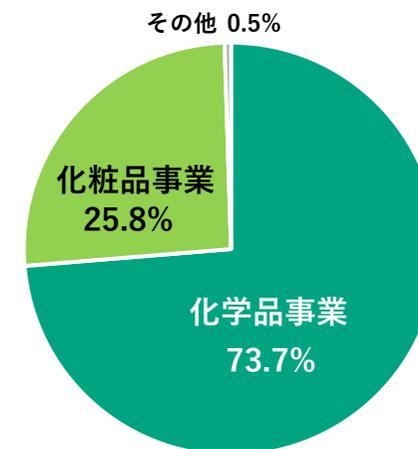
化粧品事業：減収・減益

単位：百万円		2023年12月期 2Q		2024年12月期 2Q		前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	化学品事業	17,160	70.6%	19,186	73.7%	+2,026	+11.8%
	化粧品事業	6,823	28.1%	6,707	25.8%	△116	△1.7%
	その他	322	1.3%	150	0.5%	△172	△53.4%
	合計	24,306	100%	26,044	100%	+1,737	+7.1%

セグメント利益	化学品事業	444	32.8%	1,856	73.3%	+1,411	+317.5%
	化粧品事業	850	62.9%	675	26.7%	△175	△20.6%
	その他	58	4.3%	▲9	—	△68	—
			100%		100%		
	共通	△920		▲895		+25	—
	合計	432		1,626		+1,193	+275.8%

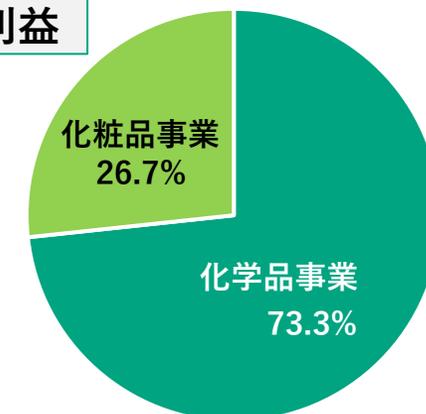
売上高

化学品事業が
7割強



セグメント利益

化学品事業が
7割強



財務データ等推移

単位：百万円

項目	2014/2Q	2015/2Q	2016/2Q	2017/2Q	2018/2Q	2019/2Q	2020/2Q	2021/2Q	2022/2Q	2023/2Q	2024/2Q
売上高	19,542	21,999	20,966	23,414	24,752	23,649	19,753	24,100	24,917	24,306	26,044
EBITDA のれん償却額反映	2,576	2,424	1,722	1,999	2,180	1,703	1,678	2,654	2,566	1,534	2,713
(EBITDA率)	13.2%	11.0%	8.2%	8.5%	8.8%	7.2%	8.5%	11.0%	10.3%	6.3%	10.4%
減価償却費 のれん償却額含む	880	935	840	923	967	933	1,339	1,241	1,180	1,101	1,087
営業利益	1,696	1,489	882	1,076	1,213	770	339	1,413	1,386	432	1,626
(営業利益率)	8.7%	6.8%	4.2%	4.6%	4.9%	3.3%	1.7%	5.9%	5.6%	1.8%	6.2%
経常利益	1,688	1,632	831	1,099	1,266	681	470	1,596	1,823	766	2,007
親会社株式に帰属する四半期純利益	1,129	993	402	571	1,829	329	175	1,583	1,058	285	1,217
1株当たり四半期純利益 (円)	64.21	58.27	25.64	36.45	116.58	20.95	11.17	100.59	67.14	18.06	77.01
配当金 (円)	8	8	10	8	8	8	4	8	11	16	25
自己資本比率	42.7%	39.3%	35.7%	34.7%	35.7%	37.0%	37.6%	44.7%	48.7%	52.4%	55.1%
ROE	13.6%	10.5%	4.7%	6.7%	18.9%	3.3%	1.8%	14.2%	8.0%	2.0%	7.7%
ROA	8.4%	6.7%	3.8%	4.3%	4.4%	2.8%	1.3%	5.3%	5.0%	1.5%	5.6%
研究開発費	984	1,010	1,061	986	1,085	1,022	982	1,062	1,083	1,136	-
従業員数 (人)	1,227	1,359	1,444	1,455	1,490	1,514	1,503	1,472	1,469	1,508	1,529

※ は「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準 第29号）等適用によりそれ以前とは基準が異なる項目

輝け、カガクで。

Activate Your Life

お問い合わせ先

 日華化学株式会社 IR担当

TEL:(0776)25-8584(直通)

Email : matsushima@niccachemical.com

この資料には、2024年7月31日現在の将来に対する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。